



< 校 訓 > 相共に 自ら伸びる 有中生
 < 学校教育目標 > 心豊かで、心身ともにたくましく生きる生徒の育成
 < めざす生徒像 > 知性を磨く 心を磨く 体を鍛える

発 行 者
 南島原市立有家中学校
 校 長 岩永 秀久

ベストを尽くした市中総体、3年生お疲れ様でした！

6月11日・12日で開催された南島原市中学校総合体育大会、8会場で熱戦が繰り広げられました。私は、軟式野球の競技部長だったため、有家総合運動公園グラウンドで観戦させていただきました。3チームの総当たり戦でしたが、すべて1点差ゲーム、そのうち2試合が延長戦(タイブレーク制)へもつれ、サヨナラ勝ちで試合が決するという見ごたえある試合ばかりでした。3年生にとっては、集大成ということもあり、一つ一つのプレーに気迫がこもり、最後まであきらめず、懸命にボールを追う姿に感動させられました。

競 技		試 合 結 果		県大会出場校
男子バレーボール		決勝 vs 深江 2-0		有家中(大村市)
女子バレーボール		予選リーグ vs 布津 2-1 vs 〇之津 2-0	準決勝 vs 深江 0-2	西有家中
男子バスケットボール		一回戦 vs 北有馬 58-30 準決勝 vs 深江 34-92		深江中
女子バスケットボール		一回戦 vs 深江 24-92		深江中
男子ソフトテニス	団体	予選リーグ vs 北有馬中 1-2 vs 布津中 0-3 vs 南有馬中 0-3		南有馬中
	個人	1ペア 初戦惜敗		南有馬中、西有家中
女子ソフトテニス	団体	予選リーグ vs 南有馬 1-2 vs 北有馬 3-0 vs 加津佐 1-2		布津中
	個人	1ペア 二回戦惜敗 2ペア 一回戦惜敗		布津中、深江中
軟式野球		リーグ戦 vs 西有家・深江 2-3 vs 加津佐・〇之津 6-7		加津佐中・〇之津中 合同チーム
男子卓球	団体	リーグ戦 vs 加津佐 0-3 vs 西有家 2-3		加津佐中
	個人	5名 二回戦惜敗		加津佐中、加津佐中
女子卓球	団体	リーグ戦 vs 〇之津 0-3 vs 加津佐 1-3		〇之津中
	個人	3名 二回戦惜敗 5名 一回戦惜敗		〇之津中、加津佐中
剣 道	団体	予選なし		男子 有家中 (佐世保市)
	個人	男子 優勝 中村 統悟(3年) 3位 岩永 隆希(3年) 女子 優勝 田中 里奈(3年) 3位 森崎 翼(1年)		男子 中村 統悟 女子 田中 里奈 (佐世保市)

※硬式テニス競技 船戸 蘭心(3年)、土橋 優大(2年)本市の代表として県大会出場(佐世保市)

7月は、長崎県「ココロねっこ運動強調月間」

内閣府では、昭和54年以来、毎月7月を「青少年の非行・被害防止全国強調月間」と定め、青少年の非行・被害防止対策の推進を呼びかけており、それにあわせて長崎県でも7月を「ココロねっこ運動強調月間」と位置づけています。

本期間中は、最重点課題等に基づき、趣旨に対する深い理解と認識のもと家庭・学校・地域社会・行政が一体となり、青少年の健全育成と環境浄化を目的とした「ココロねっこ運動」を集中的に実施し、県民一人ひとりへの更なる普及と実践を目指していきます。

■最重点課題

インターネット利用におけるこどもの犯罪被害等の防止

- 重点課題1 有害環境への適切な対応
- 重点課題2 薬物乱用対策の推進
- 重点課題3 不良行為及び初発型非行（犯罪）等の防止
- 重点課題4 再非行（犯罪）の防止
- 重点課題5 重大ないじめ・暴力行為等の問題行動への対応

大人みんなで 子どもの心を育てよう！



ココロねっこ運動

大人みんなで子どもの心を育てよう！

◆ココロねっこ運動とは・・・

子どもたちの心の根っこを育てるために、大人のあり方を見直し、みんなで子どもを育てる長崎県の県民運動です。

◆大人が変われば子どもも変わる

「子どもは社会を映す鏡」です。もし、子どもに問題があるとすれば、それは大人自身の問題として考えてみる必要があります。

◆できることから、大人から

子どもは日々成長しています。子どもが大人になり人々とよりよい関わりの中で自立していけるように、私たち大人がモデルになり心の根っこをしっかりと育てたいものです。

「命を大切にし、他人を思いやる心豊かな有中っ子」を目指します！

「長崎っ子の心を見つめる教育週間」は、学校と保護者及び地域が連携し、「地域の子どもは地域で育む」という気運をさらに高め、「いのちを輝かせて生きる心豊かな長崎っ子の育成」を目指す取組です。

本校でも、7月3日(月)～7月9日(日)を「長崎っ子の心を見つめる教育週間」に設定し、一週間、学校開放を実施します。7月5日(水)は、全学級の道徳の公開授業と学年学級PTAを計画しています。担任と子ども達が「命」について、どのように考え、どう向き合っていくのか、参観いただくと同時に、お子様の成長に向けてご家庭と学校で共有していきましょう。

有中生の命が輝きますように！



7月7日は、1年に1回だけ、織姫と彦星が会えるように、神様に計ってくださった大切な日です。学校では、「心の教室」の岩本相談員が、一週間前に笹竹と短冊セットを相談室前に設置されました。あっという間に、子どもたちの短冊でいっぱいになりました。それは、笹竹が神様に向かって「子ども達の願いが叶うように」とおじぎをしているようにも見えます。いつの時代にあっても、自分に向き合って、素直な気持ちで願い事を表現できることは、とても良いことです。「どうか、有中生の命が、これからもずっと輝き続けますように」

3・4組が、正門横の学級園に黒いビニールをかぶせ、畝を作ったところ、近隣の平山さんが、気に留めてくださり、サツマイモの苗を分けてくださいました。地域に感謝です。大切に育て、実りの秋にさせてもらいます。